

極楽寺だより



発行所：極楽寺（浄土真宗本願寺派）
山口県長門市三隅下野波瀬 3633
☎759-3803 ☎0837-43-0625

2017(平成29)年12月号

御正忌報恩講のご案内

阿弥陀さまの大慈悲をあきら

かにして、私たちに浄土往生の

道を示して下さい。たご開山親鸞聖人の九十年のご苦労とご

恩徳を讃え、仏恩報謝の心をよせあつて、大切につとめさ

せていただく報恩講。浄土真宗では、もつとも大事なご法

要です。お誘いあわせお参り下さい。



一月十四日(日) 昼一時半 夜七時

十五日(月) 昼一時半 夜七時

夜十一時

十六日(火) 昼一時半

※ 十六日は親鸞聖人のご命日です。

特に大切に勤めます。

報恩講お齋のご案内

次の通り、お齋のご案内を申し上げます。

【十四日】

「昼」

向山・久原・土手

中村・大竹・市・湯免

下中小野・辻並

【十五日】

「昼」

豊原・平野・浅田・沢江

上ゲ・殿村・上東方

下東方・小島・町外

「夜」

野波瀬西側

(五〜十三班)

「夜」

野波瀬東側

(一〜四班)

室生

※ 十六日は、お齋はありません。

※ 都合の悪い方は、指定以外の日にお参りされても構いません。

お齋受付のお願い

野波瀬の世話人の方は、毎年のように担当区域の、お齋受付のお世話をお願いします。

ごしょうきほうおんこう

御正忌報恩講とは



親鸞聖人しんらんしょうにんが亡くなられた日をご縁として開かれる法要ほうようです。親鸞聖人は七五〇年も前に亡くなられましたが、聖人がその一生をかけて明らかにされたお念仏の教えは、それを生きる力、そして「よりどころ」とした、たくさんの念仏者ねんぶつしやを生み育ててきました。私たちの先輩方は、この御正忌ごしょうきという法要を一番大切にされ、人生における本当に尊とうといことを聴聞されたのです。門徒みんながこの御正忌にお参りすることが、慣ならわしでもありました。十五日には、夜の座の後に午後十一時の通夜法座つうやほうざもあります。(平成六年までは、十六日朝五時のお朝事まで、徹夜あさじでお番をするお通夜を、極楽寺でも勤めていました。)毎年御命日ごめいにちには、記念写真を撮っています。ぜひ、お参り下さい。



2017年の
16日御命日に
お参りされた皆さん

お寺のお世話をして下さい、総代・世話人の皆さんです。よろしくお願いします。

総代長	木村慎治さん(野波瀬)		
副総代長	山中重良さん(豊原)	総代	宮崎忠彦さん(野波瀬)
総代	藤田平二さん(仙崎)	総代	磯 昭正さん(沢江)
会計	松野行利さん(野波瀬)	監査	野村昭一さん(上東方)
野波瀬西側	斉藤達男さん	市・湯免	吉見周平さん
	綿野節男さん	土手・中村・大竹	田中正幸さん
	宮崎忠彦さん	久原	藤村勇次さん
	青海隆司さん	向山	木村重彦さん
	大田宇三郎さん	上東方	西村一夫さん
	岩本 勉さん	下東方・小島	小林英昭さん
野波瀬東側	藤永拓之さん	豊原	山中博道さん
	田村成治朗さん		重岡幸作さん
	石川義文さん		宮本 智さん
	江本富夫さん		坪野実人さん
	岩本国久さん	平野	山中洋介さん
辻並・中小野	松並唯夫さん	浅田・沢江・上ゲ・殿村	大田忠男さん



秘案寄だよ！
エッセイ

住職選・今年一年をあらわす言葉は？



今年も、あつという間に終わろうとしています。本当に忙しい年でした。慌ただしくも心豊かに過ごせれば

良かったのですが、結局心貧しく終わったような気がします。

だからこそ、振り返ることで次の年へと活かさねばなりません。と

いうことで、毎年恒例の流行語大賞にノミネートされた言葉から今

年一年を振り返り、住職が独断と偏見で選ぶ「今年一年を表す言葉」

を決定してみようと思います。

「2017 ユーキャン新語・流行語大賞」の候補 30 語より、

住職の選んだ言葉

魔の2回生／付度／○○ファースト／ポスト真実

フェイクニュース／ちーがーうーだーろー！

「魔の2回生」

十月に行われた衆議院議員総選挙。小池旋風への便乗で一発逆転

を狙った民主党・前原誠司党首の思惑は、小池さんの「排除します」

発言以降の逆風で大きく外れ、野党は大惨敗となりました。風や

空気に頼ると、当然逆風には脆くなります。一発逆転狙いは、博打の負けパターンであり、人生を失敗させる思考法なのだとか。そろそろ風や空気に振り回されることをやめて、地に足をつけ丁寧につき積み重ねていくべきではないでしょうか。

そういう意味において、野党で唯一躍進した立憲民主党の枝野幸男党首が「草の根からの民主主義を」と掲げられていたことは、好感を持ちました。考えてみれば、自民党の腰の強さも、野党の失策だけではなく、長い歴史の中で培われた根っこによるものだと思います。

とはいえその自民党も、風に乗って当選された方々が不祥事を繰り返し「魔の2回生」と呼ばれたことを考えると、足元を見失いかけているのかもしれない。

(次のページへ続く)

当選した

時は、

さわやかだったのに…



「忖度」

さて、上半期に最も注目された「忖度」も、空気を優先したこと
で有名になった言葉です。安倍一強の驕りが「空気を読み、上役の
意図を推察する」状況を作り出しているのではないかと批判され
たことで、有名になりました。ちなみに、空気を読むことと、配慮
することは、まったく別物です。配慮とは、相手を大切にしようと
する思いやりの心、他者への想像力です。しかし空気を読むとは、
自分の立ち位置や利益・不利益が優先されるもの。空気が許せば不
正も、いじめや差別も戦争も、平然と行
われるようになってしまいます。かつて
ビートたけしさんが、「赤信号、みんな
で渡れば怖くない」と喝破した通りです。



「〇〇ファースト」

近頃は、意見の違う他者へ配慮するよりも、自分の思いが一番だ
という時代になりました。「〇〇ファースト」は、トランプ米大統
領の自国中心主義「アメリカ・ファースト」で、注目された言葉
です。自分さえ良ければいいという考えは、人間が本来持っている
ものではありませんが、ここまで恥じらいもなく剥き出しになる

と、ブレーキの壊れた暴走車のようで恐ろしくもあります。

ちなみに小池都知事が使われた「都民ファースト」は、トランプ
さんとは違い、政治の場から排除された都民への配慮をアピール
したものでしょう。しかし、小池さんの側近・若狭勝衆院議員が
立ち上げた政治団体「日本ファーストの会」という名称は、いか
がなものかと思いました。国政を視野に入れるのであるなら、流れ
としては「国民ファースト」でしょうが、他団体が既に使用してい
たという事情があったようです。しかし、このネーミングでは「日
本さえ良ければいい」と主張しているようにしか思えません。誰か
冷静に指摘してくれる人はいなかったのでしょうか。

立場の違う人に、違う角度から指摘
してもらうことは、とても重要なこと
です。なぜなら、完璧な人間などいな
いのですから。仏教では、あるがまま
に物事を見、知ることを「如実知見」
と言います。しかし、これは仏様の智
慧の話。逆に言えば、偏った見方しかできない私たちであること
を知らしめる言葉です。だからこそ、その自覚のもとに様々な角度
の指摘に耳を傾けることが大切だと教えられますのです。



「ポスト真実」

「フェイクニュース」

ところが、冷静で客観的な事実よりも、自分にとって都合の良い事実だけを優先した感情的な意見が、政治判断にも大きな影響力を持つようになりました。これを「ポスト真実」と言います。ポストとは「：以後」「：のあと」という意味で、転じて「重要ではない」ということのようなのです。真実は重要ではない。それよりも自分ファースト。私が正義。おまけに、インターネットの普及によって「フェイクニュース」（嘘のニュース）も拡散されていますから、事は深刻です。自分にとって不都合な情報は排除し、嘘かどうかも確認することなく都合の良い情報だけを振り回し、自分が正しいと主張する。そんな状況に、ますます拍車がかかっています。

「ちーがーうーだーろー！」

そうになると、反対する他者は邪魔になり、思い通りにならない他者は許せなくなります。豊田真由子元議員のパワハラ発言「ちーがーうーだーろー！」も、思い通りに動かない秘書は罵倒されて当然だという感覚から来て、



私が違ったら
違ふだよー！
ふざけやがって
違ふらっただろ！

いるのではないでしようか。そうなれば、弱い立場にいると大変です。たとえそれが間違ったことでも、上司ファーストで接し、忖度しなければ、排除されてしまいますから。

勢いがあり、風に乗っているうちは自分ファーストで良いのかもしれませんが。しかし風向きが変わると、今度は排除される側になるということを、豊田さんのその後が教えてくれています。例えば、豊田さんも「魔の2回生」の一人。風に頼る者は風で墮とされ、排除する者はいずれ排除される。それは小池さんも身に染みておられると思います。

排除したつもりが 自分排除され（2017年11月15日毎日新聞万能川柳）

放送作家の草分け的存在で、『上を向

いて歩こう』など多くのヒット曲の作

詞など多方面で活躍された永六輔さん

は「自分を叱ってくれる人は、探して

でも見つけろ」と言われていたそうです。歳をとっても経験を積ん

でも、完璧になつたわけでも悟りを開いたわけでもありません。な

らば、見落としていた大切なことを指摘してくれる人がいるとい

うことは、有り難いことのはず。自らを問い、（次のページへ続く）



振り返ることがなかったら、成長もありません。それが地に足を
つけた生き方ではないでしょうか。違う意見を排除すれば、視野も
狭まり、考えも偏ります。自民党も、かつては党内に様々な意見
と立場があり、議論や配慮の中で、落としどころを探りながら深め
合うことで、根を張ってきたはずです。

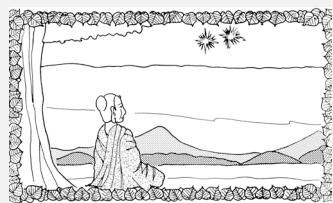
就職が選んだ言葉は…

ということで就職が選ぶ「今年一年をあらわす言葉」は、本家の
流行語大賞ではノミネートされませんでした。小池旋風を
逆風に変えたひと言、「排除します」に決定したいと思います。

まさに、都合の悪い者は排除し、都合が悪くなると排除される時
代です。だからこそ、摂取不捨（どんな者も、摂め取り捨てない）
の本願をたて、私たちに呼びかけられている阿弥陀様の心を深く
味わい、地に足をつけて新しい年を迎えたいと思うのです。

今年一年間、お世話になりました。有難うございました。来年も、
よろしくお願いいたします。 ■

排除 します



極楽寺掲示伝道 けいじてんどう

極楽寺掲示伝道

他人と比べる
ところから
不幸は始まる



12月の言葉

とても印象に残ったコマースシャルがあります。

自動販売機の前に、横並びの二つのベンチ。端っこに営業マン
が座っていて、反対側の端っこには鳶職人が座り、それぞれに缶
コーヒーを飲んでいます。

営業マンが、心の中で呟きます。

「鳶かあ。いいよなあ。ストレス無さそうで。」

鳶職人が、心の中で呟きます。

「営業かあ。いいよなあ。楽そうで。」

すると営業マンが、

「しかし、まあ。もし、オレが鳶職だったら…、

いやあ、ムリ無理。」

鳶職人も、

「もし、オレが営業だったら…、いやオレはできねえわ。」



二人は相手を見ながら、心の中で呟きます。

「あんた、偉いな。」

「お疲れ！」

「誰だか知らねえけど」

そしてラストは、飲んだ後の缶を捨てる時に、「どうぞ」「どうぞ」と、譲り合う。いつしか相手に対して、優しくなっている。こんな缶コーヒーのコーマーシャルです。

相手に対し、「いいよなあ。」と比べ始めた時は、お互い敵意のようなものさえ感じていた。それが、自分を相手の立場に置いて考えた時に、それが敬いの気持ちに変わり、思いやるようになり、いつしか優しい自分になっていた。誰かと自分を比べたときに、妬み、嫉み、劣等感は起ります。そこで止まってしまったら、一日中嫌な気持ちで過ごさなくてはなりません。逆に相手を敬う気持ちになることで、気持ちの良い一日が始まるのだとしたら、まさに「比べるとところから不幸は始まる」と言えるでしょう。

私たちは、妬み嫉みだけではなく、自分より、不幸な人を見つけて安心する心理も持っています。「あの人よりも、マジだから」と、上から下に、見下すことで優越感を感じて安心する。これを「下方比較」というそうです。そんな優越感、劣等感の裏

返しでしかありません。いつ見下されるかとビクビクしながら、見下せる誰かを探して一喜一憂している。これは心寂しい生き方です。

しかし、「私もつらいけれど、あの人はずっと苦しい人生を一杯生きられている。勇気をもらった。私も頑張ろう。」という考え方は、似ているようですが「下方比較」とは全く違います。なぜならこれは、蔑みではありません。自らを振り返り、自分の恥ずかしさも受け止めている。まさに、コーマーシャルの「あんた偉いな。」という台詞のように、敬いの心が込められています。私たちは、苦しみ、悲しみに出遇うとき、「誰も理解してくれない」「もうダメだ」という思いに閉ざされてしまいます。そんな時に、「形は違えど、同じような問題を抱えながら、もっと深く人生を生き抜かれた方があるよ」と、励まし、導いて下さる出遇いがあるかどうかで、人生は全く違ったものになるのではないのでしょうか。

私たちの先輩方は、親鸞聖人の後姿にその出遇いを感じとり、「あ、そうか。聖人はすでに私の前を歩いて下さっていたのだ」と導かれ、勇気をいただきながら、精一杯人生を歩まれたのです。

(次のページへ続く)



TVで大人気のタレント・武井壮さんは、陸上十種競技の元日本チャンピオンです。彼が、ヨーロッパの大会で優勝した時のこと。表彰式後、こんなスピーチをしました。

「日本でいつも試合の前に食べているパンがなく、固いパンしかなかったから、しんどかった。いつも飲んでいいるドリンクがなく、試合運びが大変だった。そんな中で、勝って最高です。」

すると、同じ競技に出場した、一人の選手が近づいてきたのです。

「おめでとう。お前は身体も小さいのに、オレたちに勝った最高のアスリートだ。今日お前は最強だった。でも・・・、お前は俺たちの中で一番弱い。」

「何だ、コイツ」と武井さんが思っていると、彼は一枚の写真を見せてくれました。そこには、車いすに乗った少女が写っていたそうです。彼の母国は内戦で、悲惨な状況だったのです。

「オレの妹は、地雷で足を失った。だから買い物にも行けない。オレが買ってきたチカチのパンを食べて、美味しいと最高の笑顔で喜んで食べてくれる。でも、お前は優勝したにも関わらず、パンが固かったなんて不満を言う。お前は



競技者としては最強だけど、人間としてまだ最弱だと思うよ。」

これを聞いた武井さんは、涙がボロボロこぼれてきたそうです。とても恥ずかしかったと。そして、この出会いが自分を大きく育ててくれたのだと。

私は、写真の少女は素晴らしいと思います。しかし同時に武井さんにも素晴らしいさを感じるのです。もし、そこで武井さんが劣等感を感じ、反発し、心を閉ざしていれば、大切な出会いと感ずることはできなかつたでしょう。相手を敬う気持ちがあつたからこそ、自分の恥ずかしさを受け止めることができたからこそ、武井さんはこの出遇いを活かすことができたのです。

相手を敬う気持ちは、自分を導き、育てて下さるのです。妬み、嫉みや見下しでは、決して味わうことができない喜びがそこにはあるのだと教えられます。では、私はどんな生き方をしているのでしょうか。他人と比べて一喜一憂してはいないでしょうか。阿弥

陀様の光に照らされながら、自分の足元を見つめなくてはならないと、

考えさせられる毎日です。 ■



よ 喚ばれども聞か ず 聞かずとも よ 喚ばれている

極楽寺掲示伝道



1月の言葉

皆さんは、お墓はかについてどんなイメージを持たれていますか？
一般的には、暗いくら、気味きみが悪い、怖いこわといったものではないでしょうか。では、お仏壇ぶつだんについては、どんなイメージを持たれているでしょうか。やはり同様どうように、暗い、気味きみが悪い、怖いこわと言われる方が多いのではないかと思います。

しかし、お墓やお仏壇ぶつだんに親したしまれておられる方は、まったく違って見えるようです。ある若い子は、お墓が大好きだそうです。なぜなら、見守みまもられているような気がするからだとか。同様に、子どもの頃からお仏壇ぶつだんに親したしまれ、現在いま都会とにかいで暮くらしておられる方は、お仏壇ぶつだんを迎むかえられた時に、「やっと手を合あわす場所ができました。私は、手を合あわす場所が欲ほしかったのです」と言いわれていました。お経きやうを称とこえる声こゑもそうでしょう。有り難ありがたいと感じる人もいれば、最近さいきんの都会とにかいのマンションでは、お経きやうの声こゑが聞こえるきこえ、気持ち悪いものとして受け止める人もいます。受け

止め方によって、景色けしきはまったく違ちがって見えるのですね。いや、同じ世界せかいを生いきていても、受け止め方ひとつでまったく違ちがう生き方かたになるのだということなのでしょう。

近頃きんきやうは、除夜じよやの鐘かねの音ねがうるさいと近隣きんりん住民じゆうみんの苦情くじやうを受け、昼間ひるまや夕方ゆふたに鳴ならすお寺てらがあるそうです。うるさいとしか感じられないのは、正月しょうがつも関係かんけいなく働はたらかざるをえない社会しやかいの変化へんかもあるでしょう。同時に、自分の快適かいてきな空間くうかんを設定せつていし、それを邪魔じゃまするものは排除へいじゆしようとする考え方かんがひからなのかもしれません。昔むかしは、プライベートな空間くうかんを設定せつていできる人ひとなど、まずいませんでしたから、現代げんだい社会しやかい特有とくゆうの考え方かんがひだと言えるでしょう。

また、保育園ほいくえんへの入所にゆうしよを希望きやうぼうしているにもかかわらず、定員ていゐんオーバーで入所にゆうしよできないという「待機児童たいきじゆう」が問題もんだいになっていますが、地域ちいきによっては保育所建設ほいくじよけんせつに住民じゆうみんが反対はんたいするケースもあるようです。送り迎えおくむかの親おやたちの会話かいわがうるさい、渋滞じゆつたいも起こるなど、気持ちこゝろがわからなくはないのですが、中には子どもこどもがうるさいという声こゑもあるのだとか。



(次のページへ続く)

私の住んでいる地域では子どもの声がしなくなり、みんな寂しい思いをしています。まったく対照的ですね。子どもの声を、自分の生活を不快にさせる騒音と受け止めるのか。それとも「あんな頃も、あったなあ」「私も、我慢してもらって、許されて、育てられてきたのだなあ」と受け止めるかでは、景色が違って見えることでしょうか。

受け止め方によって、世界が変わり、生き方も変わります。思想家の内田樹先生は、「世界の深さは、すべてでは世界を読む自身の深さにかかっている。浅く読む人間の目に世界は浅く見え、深く読む人間の目に世界は深く見える。」（『逆立ち日本論』養老猛司×内田樹）と指摘されています。

現代社会に生きる私たちは、周りの環境を変えることで、快適さを得ようとする方向に進んでいるのではないのでしょうか。だから、「鐘の音がうるさい」「子どもがうるさい」というクレームにもつながるのでしょうか。しかし、私の快適さを邪魔するものが敵だということであれば、世界全体を私のために変えなくてはなりません。そんなことは、すぐにはできませんし、敵は次から次へとやってきて、切りがありません。逆に不快さの中で生き続けなくてはなりません。それよりも、もっと良い

方法があるのだと、仏法は提示して下さるのです。それは、私が変わることです。思い通りにしたいという「私の思い」が、実は間違っているのではないかと。まず問うべきは、思い通りにならない人生を、どうより良いものにしていくかと、私と世界との向き合い方を考え直すことなのです。

春になるとウグイスがホーホケキヨと鳴きます。それを聞いて、皆さんは何を思われますか？

ホーホケキヨと聞いて、
「春が来たなあ」と感じるのは、風流な方でしょうか。

ホーホケキヨと聞いて、
「うるさい」と感じるのは、少々神経質な方なのかも。

ホーホケキヨと聞いて、
「珍しいなあ」と感じる人は、都会の人でしょうか。

何も関心がない人は、ホーホケキヨという
声にも気づけないかもしれません。

日蓮宗の方は、
「法、法華経と鳴いている。」

ウグイスが、「法華経を讃えている」と聞かれるそうです。



蓮如上人という方は、ウグイスの声を聞いて、

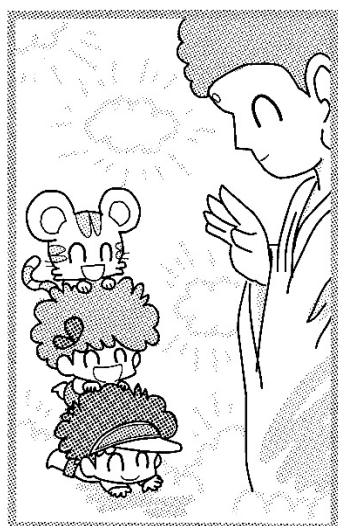
「ああ、鳥さえも、法（仏法）を聞けよと教えてくれている」といって大変喜ばれたそうです。

ウグイスが「ホーホケキョ」と鳴くのは、縄張りを主張したり、メス呼び寄せるためであって、何も『法華経』を讃嘆したり、聞法をすすめるために鳴いているわけではありません。しかし、その声を「法を聞けよ」と聞ける人は、もう達人の域ですよ。人間が豊かに成長しなくては、こうは受け止められないでしょう。受け止め方で、世界は変わります。ならば、ウグイスの意図がどうあれ、自らの生き方を豊かなものにする「喚び声」と受け止めていく生き方に、私は魅かれるのです。

親鸞聖人は、この世は教えに満ち満ちている。「喚び声」に満ち満ちていると教えて下さいました。そのみ教えを、「喚び声」を、一言で尽くせば「南無阿弥陀仏」です。一言であっても、その中身は無限にあります。一度聞いただけでわかるものではありません。「南無」には、「阿弥陀仏」にはこういう心が込められていたのか。阿弥陀様とは、どんな仏様で、どんな生き方をさ

れるのか。それを味わう中で、「ああ、これが真実の生き方、考え方というものか。私の思いはねじれていたな」ということに気づく。「南無阿弥陀仏」と称える時、今まで聞いた教えが、思い出されてくる。「こんなときは、こういうふうを考えるべきだったなあ」とか、いろんなことに気づかされていく。「喚び声」に、育てられ、導かれていくのです。

阿弥陀様からの「喚び声」は、常に、既に、届けられてあります。しかし、なかなか「喚び声」とは受け止められないのが私たちなのでしょう。しかし、聞かれなくても、受け止められなくても、飽きることなく常に喚び続けておられるのだとも教えられます。この深い心に感動できるかは、まさに私の受け止め方ひとつです。■



3月4日 春の彼岸会法要



特別講演会

ドキュメンタリー映画監督
作家

森 達也 師

2018年3月4日の極楽寺春の彼岸会法要は、特別講演会と題して、ドキュメンタリー映画監督・作家の森達也さんをお招きします。森さんと住職が出遇ったのは、15年前。オウム真理教の事件を題材にした『A』という映画を通し、違う角度から見れば世界は違って見えることを、教えて下さいました。当り前のようで、見落としがちなこと。でも、とても大切なこと。世界は単純ではなく、多面的で複雑であり、私が見ているものはあくまでも一部分。だからこそ、謙虚な態度と想像力が必要であること。これはとても仏教的な視点です。また森さんは、親鸞聖人からも、大きな影響を受けておられます。

社会的な問題やマスコミとの向き合い方を、様々な形で発信しておられますが、その根底にある「世界と向き合う態度」は、まさに仏教のスタイル。ぜひ、お参り下さい。

1956年広島県呉市生まれ。テレビ番組制作会社を経て独立。98年、ドキュメンタリー映画『A』を公開、ベルリン映画祭などに正式招待され、海外でも高い評価を受ける。2001年、映画『A2』を公開、山形国際ドキュメンタリー映画祭で特別賞、市民賞を受賞。12年、単行本『A3』で講談社ノンフィクション賞を受賞。16年に映画『FAKE』を公開。明治大学特任教授。著書に『世界はもっと豊かだし、人はもっと優しい』『いのちの食べ方』等多数。

釈 徹宗 先生の講演会が開催されます。

昨年極楽寺に来て下さった、釈徹宗先生の講演会が2018年3月9日(金)午後1時より、長門市中央公民館で、大津東組同朋研修会として、開催されます。今回は、「落語と仏教」をテーマとしたものになるようで、落語家さんとのコラボ企画です。お寺で送迎しますので、ぜひご参加下さい。詳細は、改めてお知らせします。



二〇一八年 極楽寺のご法座

◆ 一月一日 朝十時（毎年）元旦会

◆ 一月十四日～十六日（毎年）御正忌報恩講

◆ 三月四日 春の彼岸会法要

特別講師 森 達也 師（映画監督）

◆ 四月十一日～十二日 春の永代経法要

講師 東京 延立寺住職 松本智量 師

◆ 五月二十一日（毎年）清光仏教婦人会 降誕会

◆ 六月十一日～十二日 夏法座

講師 福岡 西教寺住職 森 哲人 師

◆ 八月十四日～十五日（毎年）盆法会

◆ 九月二十三日（毎年・秋分の日）納骨堂追悼法要

◆ 十一月十三日～十四日 秋の永代経法要

講師 俵山 正福寺住職 上原泰教 師

◆ 十二月十八日（毎年）清光仏教婦人会 報恩講

◆ 十二月三十一日（毎年）除夜の鐘つき 初礼拝



ご法座には、
もと しきしょう
門徒式章をつけてお参りしましょう

門徒の正装は、門徒式章をつけた服装とされています。喜びも、悲しみも、仏様と一緒に。お参りの際は、式章をおつけ下さい。

住職の

つぶやき

□ 本当に忙しい年でした。精神的に何度も追い込まれ、周囲の方々にご迷惑をかけたこともあり
ました。□ そのせいなのか、長年大ファンだったロックバンド・サンボマスターの曲が聴けな
くなってしまいました。ノリノリのリズムに、身体がついていけなくなったのです。カープのC
S敗退も、あまり悔しくなかったのは、気力・体力の衰えなの

でしょうか。いや、シリーズ優勝で充分満足してしまう、卑屈なファン心理な
のかもかもしれません。□ そんな私が、今年ハマったのが、竹原ピストルという
ミュージシャンです。「よー、そこの若いの 俺の言うことを聞いてくれ」とい
う曲を、CMで聞かれた方もあるのでは。不器用で、愚直で、優しく。疲れ
切った心に染み入る歌声に、何度も涙しました。四十代、五十代の男性には、
特におススメです。坊守はあまり興味を示しませんでした。[住職]



除夜の鐘つきのご案内

毎年、極楽寺では、おでんを用意して、大晦日おおみそかに除夜の鐘つきを致します。
す。熱々のおでんをほおばりながら、新しい年が明けるのを共に味わい
ましょう。懐かしい人と再会さいかいできるかもしれませんよ。
撞つき始め十一時五十分より。終了後、初礼拝はつらいはいのお勤めをします。



元旦会のご案内

一月一日
朝十時より

時間は約三十分。家族全員でお参りまいされる家もあります。ぜひ、お参り
下さい。わが家のお仏壇ぶつだんも打敷うちしきをかけて飾り、
新年むかを迎えましょう。

※ 参拝者には、記念品を用意しております。



お礼とご報告



ポルトップ収集
ありがとうございます

山口別院で換金され、県内福祉施設へ寄付されます。
今年は、8.8kg (空き缶約29,300個分)

たすけあい募金

本堂に設置した募金箱へのご懇志です。

合計 13,623 円

ありがとうございました。本願寺を通して、被災者の方々への義援金として寄付いたしました。

お知らせ

元世話人の田村末夫さんがご往生されました。長い間お世話になりました。ありがとうございました。

2018 (平成 30) 年

年回忌表

昭和 93 年に当たります。

一周忌 2017 (平成 29) 年往生
三回忌 2016 (平成 28) 年往生
七回忌 2012 (平成 24) 年往生
十三回忌 2006 (平成 18) 年往生

十七回忌 2002 (平成 14) 年往生
二十五回忌 1994 (平成 6) 年往生
三十三回忌 1986 (昭和 61) 年往生
五十回忌 1969 (昭和 44) 年往生
百回忌 1919 (大正 8) 年往生

※ お配りした、カレンダーの台紙にも、書いてあります。